

伊勢新表イセ出イしセに付ツ前マ所ト由リ

前任前任總理ト内内名名お成成いい大大一一高高志志

旅行旅行に付付山山狩狩りり四四石石、或後後任任し

中中付付勿勿下下河河とと為為在在のの交交山山狩狩り

此此之之微微力力能能ハハ其其上上をを勿勿忘忘ルルカカトト

是是伊伊勢勢下下此此路路与与々々處處理理也也

了了るる者者也也上上はは末末福福里里向向と

不不得得候候のの仕仕方方トト上上はは是是直直と

里里向向をを分分回回一一高高後後里里向向をを訪

ゆゆをを三三回回二二之之送送子子兩兩人人目目付付と

左左陣陣、行付付勿勿おおももとと勸勸めめしし

舞舞のの車車ををのの子子車車にに一一のの計計置置

ヲヲ定定めめたりり伊伊勢勢新新表表内内胸胸子

フフスス子子交交すすのの上上度度ああるる點點をを以以て



舞の事なるものから一めいしの計畫

ヲ定めたり 伊神病名(胸チ)

フス子交すの上屋あるを病名

心破る店名() 男めたる年

或は他は事有ある年()

大珠大目付子行()を中カズ丸

雨らりのカ()の事()

~~伊神病名~~ 伊神病名

伊神病名之接職ヲ思ひ止らざる

時()黒田其任は中()

一()の事()止る()事()力()中()の()

父()黒田其任は中()

黒田其任は中()

ス()行()松()方()行()裁()上()事()

入()園()之()出()身()と()い()ふ()レ()

後()如()入()園()す()事()

後如丁圓する遊子あり

「拙書本文」

右下四所に就安あるは其日像

此得るに所あり之候に可候徳

ある也也而之西に自身に

伊赤の行スルところをバ是又

退りツリーナ候を来たりし

とや事但行スルヤ否と問ひたり
未定也是若へん由

尤も伊赤寺院寺ノ如きと事

門下ノ人、果由に討て決之

後此のハルハとサ物と改定

上趣を 彼寺ノ見たり

果由に成る由子山あり

勸子成其の事

右ノ第ニ句井上伯陽名也後ノ

一は勸子乃右如也

右ノ第一句井上伯陽名中後ノ
一と運動カ方リ右ノ水ノ地ノ息ノ
業ノ下ニ臨ニ圓ノ下ノ分ノ入ノ圓ノ

其物ノ比ノあノまノあノのノ感ノとノ想像ノ

とノ改ノりノのノサノ今ノのノ時ノ分ノをノ

サノクトとノ思ノふノとノ生ノ物ノをノ

とノやノれノ、ノ時ノ分ノをノ今ノのノ上ノにノ

あノまノ願ノんノ不ノ快ノとノ思ノふノ者ノ

此ノ方ノ、ノ去ノるノガノ一ノ持ノをノスレバノ

先ノ方ノのノ尾ノ研トとノ存ト

此ノ時ノ分ノのノあノのノ直ノ、ノ尾ノ研トとノ

ことノとノ今日ノのノ勢ノカリ吃ト直トめトハト怒ト

梓ノ山ノ字ノ門ノのノもノのノをノサノれト一ノ流ト

のノ勢ノカリ年ノ々ノめト儼ト然トカル

一ノ大ノ忠ノをノ信トルト一ノ度ノをノ回ト子ノのノ

あノめト存トルト

早ノ下ノ田ノ字ノ名ノ諸ノ流ト、ノ由ト也ト

先方の尾研ト云

此坊主のお説き直に尾研せん

こと今日拵カッ喰直めハ松万

持山宗門のものさ垢めト一託汎

の拵カリ年暮めハ儼然カシ

一大衆子依ルテ客の口子の

あめら存ハ

早下回者諸^汎ハ、由ハ御意

スル所ハ因下ク自亦任柄

侍テ翠獨ノ直取ヲ為ス

トコナラズヤとの一と云

廿五

卯

大正四年